

2022年 3月 18日  
千代田区富士見二丁目 3-27  
ハーモニ別館 123  
ロンハート株式会社

R.O.N.HART CITY 第一弾  
西伊豆スカイライン・シリーズ 発売について

ロンハート株式会社（東京都千代田区、代表取締役 栗野友介）は、3月6日にプレ発表した“R.O.N.HART CITY” 第一弾「西伊豆スカイライン」シリーズの一般公開を開始しました。

“R.O.N.HART CITY” は、静岡県・旧戸田村の良質なEMOをフィーチャーし、バブル期の1987年の、あのなんとも言えない<sup>フィルタ</sup>空気を取り入れたアイテム・グラフィックをあしらえた、都会に憧れた港街の若者をイメージしたノスタルジックなストリートブランドです。

ロンハート公式オンラインショッピングサイト”R.O.N.HART FLAGSHIP ONLINE BOUTIQUE” (<https://ronhart.com>) にて受注生産の注文販売を行なっています。



西伊豆スカイライン ”NIHONGO” Type0  
（カラー：サンセット）5,775 (Tax in)



西伊豆スカイライン ”ENGLISH” Type0  
（カラー：ブルーオーシャン）5,775 (Tax in)

# WHAT'S HEDA?

旧戸田村（きゅうへだむら）



静岡県にある、とある集落。

ここは、交通の便が非常に悪く、バスか車で、訪れるのに峠を越えないといけない、この聖域のようなこの地で、

私の幼少期、  
まだ小さな村・戸田村として賑わっていた、あのころ。

今から25年ほど前の夕方に、初めてEMOの衝撃を受けたあの感動は忘れません。

それから、造形家としてEMOを使った活動を始めたときも、このなんとも言えない感情は、仕事の糧にしています。

最初にEMOと出会ったこの地で、この場所で。

良質なEMO＝心をエグるなんとも言えない強い感情を、伝えたい。  
そんな思いでここまでやってきました。

ロンハートはEMOを量産する会社です。  
そして、私がEMOをつくります。

みなさま、よろしくお願いたします。

ロンハート株式会社ディレクター

わあし



フロント



バック

西伊豆スカイライン "NIHONGO Type1  
(カラー：ブルーオーシャン) 23,100 (Tax in)



フロント



バック

西伊豆スカイライン "ENGLISH Type1  
(カラー：サンセット) 23,100 (Tax in)

西伊豆スカイラインは、旧戸田村へ向かう玄関口にある道路の名称で、ツーリングや海水浴へ向かうレジャー観光の通り道となっております。今回製作をするにあたり、静岡県道路公社様のご協力の元、西伊豆スカイラインの名称を用いたアイテムの製作をいたします。今回の企画では、キャップ2種、フーディ2種、Tシャツ2種のラインナップにてお届けいたします。

# 西伊豆 スカイライン

## 西伊豆スカイライン ログタイプ

地元の方にはお馴染みの、西伊豆スカイライン周辺の道路標識に描かれた書体をそのままトレースし、今回のアイテムのシンボルとしました。



## 西伊豆スカイライン イングリッシュバージョン ログマーク

今回の企画のために新たに制作された、イングリッシュバージョンのログマーク。旧戸田村がサンセットのイメージのため、夕陽に向かって旧戸田村へと進む道路を強調したイメージになっています。



フロント



バック

西伊豆スカイライン "NIHONGO" Type2  
(カラー：スカイブルー) 11,550 (Tax in)

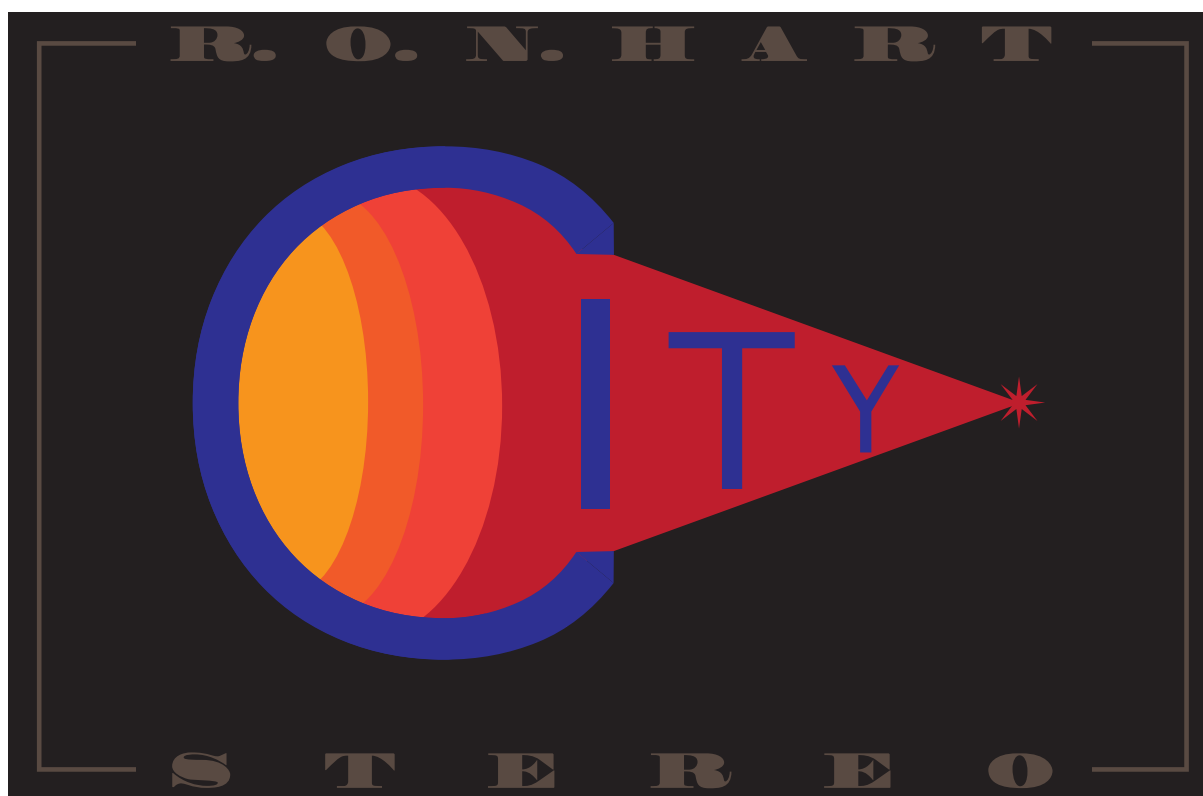


フロント



バック

西伊豆スカイライン "ENGLISH" Type2  
(カラー：ピンクカクテル) 11,550 (Tax in)



### R.O.N.HART CITY ロゴマーク

日本のバブル景気が始まったころ、1987年をフィーチャーした、都会に憧れた若者たちのためのストリートブランド。カセットプレイヤーを片手にバスに乗り、都会へと進むノスタルジー。そんなエモーショナルなコンセプトがあります。ロゴマークは、駿河湾に沈む夕陽・サンセットをモチーフに、都会への憧れや希望をイメージしています。

---

このアイテムに関するお問合せ先

ロンハート株式会社

担当：粟野

[office@ronhart.com](mailto:office@ronhart.com)

050-3395-6810